

IJ学級通信

西 東 京 市 立 青 嵐 中 学 校
校 長 湯 浅 泰 美
IJ学級 学級通信 No. 21
令和6年 10 月 21 日 (月)

♪♪合唱コンクールお疲れ様でした♪♪

IJ学級スローガン **かんぜんせいはい 完全声覇**～全力で感動の歌声を届けよう～

10月12日(土)に、合唱コンクールが行われました。今年度は、審査形式でのコンクールでした。結果は銀賞！よくがんばりました。

課題曲『夢の世界を』は、夢に向かって突き進む若者たちの姿が映し出されています。「さあ、語り合おう。素晴らしいぼくらの夢の世界を」という歌詞は、夢を叶えるために広い世界に羽ばたいていく姿を連想させます。

自由曲『あとひとつ』は、IJ学級の生徒が多数決で選曲しました。ノリの良いスウィングのリズムを用いた旋律に、夢に向かって努力する人に向けた熱いメッセージが込められています。

偶然ではありますが、今年度のIJ学級の合唱曲には「夢に向かって突き進む若者を、熱いメッセージで応援している」構図があったのです。音楽の授業では、自分たちの経験したことを振り返りながら、歌詞の意味を想像したり、情景を思い浮かべながら歌ったりしました。その中で、「今までの経験で自分が努力したことや悔しかったことは何ですか？」という問いに次のように答えた生徒がいました。

「バスケ部でスタメンになるために体の限界がきても走り続けた。だけどスタメンにはなれなかった。試合に出ても得点を決められずに引退したことが悔しくて、涙を流した。」

まさに今回の合唱のように、夢に向かって努力した経験を語ってくれました。こうした経験は一生ものです。たとえ叶わなかったとしても、その悔しさをバネにしてまた新たな挑戦につながると思います。

ご紹介した生徒だけでなく、IJ学級には、夢を叶えるために努力している人、やっと夢を見つけた人、夢を探している途中の人など、様々な生徒がいます。そして、その裏には常に応援してくれる人がいることを忘れてはいけません。今回の合唱コンクールも、実行委員の生徒、指揮者の生徒、保護者の方、先生方等がいて成り立っているものです。本当にありがとうございました。

その感謝を胸に、自分の目標や夢に向かって最大限努力し続けてはじめて、スローガンである「完全声覇」を達成できたといえるのではないのでしょうか。

夢を叶えるには応援してくれる人がいるという安心感も必要不可欠です。ぜひこれからも、大切なお子様への温かいご声援、ご支援をよろしくお願いいたします。



佐野先生より

IJ学級みなさん、合唱コンクールへの取り組みお疲れ様でした！

みんなの気持ちが、歌声とともに一つになっていく過程を見ることができて、とても感動しました。

本番の成功は、一人一人の努力の賜物です。

自信をもって、これからの学校生活も堂々と過ごしてください。

音楽講師 佐野先生

『苦手だったけどうまくなった音楽』

1年J学級 T.Yさん

十月十二日に合唱コンクールがありました。最初に歌ったときはリズムが難しかったけど、いっぱい練習したおかげで苦手だった音楽が楽しくなってきた、本番に銀賞をとれたのでやって良かったです。その曲の中でも一番難しかったのは「あとひとつ」です。理由は、リズムが細かすぎて、全然追いつけなかったからです。小学校の時から音楽が苦手でした。しかし中学校に入ってから音楽は歌声が上手になった気がして、気持ちいいなと「あとひとつ」を歌う前はおもっていました。でも、「あとひとつ」を歌ってみて、結構リズムが難しいし、テノールで歌わなければいけないので自信をもって歌えるかなと心配しました。それでも僕は、家で練習をしました。しかし、体育館練習でミスをしてしまいました。二番の入りが早すぎてリズムをずらしてしまい、落ち込みました。でも友達が「次がんばろう」と励ましてくれて嬉しかったです。それからずっと練習して、ついに本番がきました。緊張したけど、なんとか歌い切りました。銀賞をとれたのでうれしかったです。来年もがんばります。

『口が開かなかった合唱コンクール』

2年I学級 M.Kさん

僕は、今年2回目の合唱コンクールだったから、なんとなく動きがわかっていました。でも3年生が卒業してから、ちょっと不安でした。練習が始まり、いやな気持ちで練習をしていたけど、通して歌えるようになると、急に楽しくなりました。でも、本番に近づくにつれていやな気持ちが増してきました。最後の放課後練習では、うれしさと嫌な気持ちが増しました。練習が終わるということは、放課後に残らなくていいということになるけど、本番が近づいているということにもなるからです。本番になり合唱コンクールが始まりました。IJ学級は最初なので、すぐに出番がきました。行くしかないと気合いを入れて歌おうとしたら、口が開きませんでした。そして気づいたらIJ学級の出番が終わっていました。振り返りの動画を見ると、やっぱり口が開いていませんでした。全クラスが終わり、表彰式に入り、結果は銀賞でした。来年が最後なので、しっかり口を開けて、金賞を目指して歌いたいと思います。

『合唱コンクール』

3年I学級 I.Rさん

今回の合唱コンクールで私は、指揮者をやりました。初めての指揮者で、いろいろな不安や緊張感に耐えながら練習をしてきました。本番一週間前になると、不安やプレッシャーから体調を崩してしまうことがありました。本番でも一番最初で緊張しましたが、本番でも練習と同じようにできて、終わった時のやり切った感じは今でも忘れられません。終わってとても嬉しかったのを覚えています。歌は、練習の時には出なくて、本番で声を出せるか心配でした。でも、中学生で最後の合唱コンクールだと思い、声を思いきり出しました。今まで練習してきた時よりも一番声を出せたなと思いました。今回、指揮者という特別な役割を経験して、自分の身に付いたと思うと、いやだった事もやってよかったなと思いました。